

ソフトテニス競技専門部の対策

【参加者について】

1. 選手・選手以外の部員・監督・引率・コーチ、応援者（保護者等）、大会役員・審判・来賓等のみとする。応援者（保護者等）は登録選手1名につき2名までとする。
2. 選手・監督・引率・コーチは、（別紙1）体調記録表を大会2週間前から記入し、監督に提出すること。応援者（保護者等）、大会役員・審判・来賓等は、それぞれ記入し、各自保管とする。監督は、（別紙1）で選手・コーチの状況を確認し、（別紙2）学校同行者体調記録表にまとめ、大会当日、学校受付時に本部へ提出すること。応援者（保護者等）の代表は、大会当日、来場する応援者全員の状況を確認し、（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表にまとめ、監督に提出すること。監督は、（別紙2）とあわせて本部に提出すること。体調不良者は参加を認めない。

※提出物一覧（朝受付時）

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> （別紙2）学校同行者体調記録表 ← 選手・監督・引率・コーチ分 |
| <input type="checkbox"/> （別紙4）応援者（保護者等）体調記録表 ← 応援者（保護者等）分 |
| <input type="checkbox"/> オーダー表（団体戦のみ） |

3. 会場ではマスクを着用すること。ただし、選手に関しては、高温多湿の環境下でのマスク着用が熱中症のリスク等につながると判断した場合には、マスクを外すよう指導すること。
4. 更衣室で選手が密にならないよう、一度に利用できる人数を制限する。
5. トイレに並ぶ場合は、十分な距離（2m以上）を空けること。
6. 試合をしていない時は、観覧席に座っての試合観戦は認めるが、十分な距離（2m以上）を保って観戦し、大声を出しての応援は控えるよう、チームで応援者に注意喚起を行うこと。
7. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

1. 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合中の選手と審判はマスクを外すこと。
3. 自陣のサイドのベンチに一番近い入り口から入場・退場し、入口に設置している手指消毒液で消毒を行うこと。また、試合終了のたびにこまめな手洗いを行うこと。
4. 試合開始前の挨拶・トス及び試合後の挨拶は、ネットから1m以上離れて行うこと。また、試合後の選手間での握手、勝者サインも禁止とする。
5. 試合中、ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
6. ベンチコーチのアドバイスは、座って前を向いて行う。対面で行う場合は、離れたところから、ペアの距離も取った上で行うこと。
7. 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、飲料水に関しては、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。

【応援者（保護者等）について】

1. 応援者（保護者等）の入れ替わりは認めるが、入場する予定の全ての応援者を（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表に記載し、事前に提出すること。
2. 会場にいる間は、応援者用のADカードを常に身に付けること。ADカードがない場合は、会場への入場はできない。（ADカードは、所属中体連の指導のもと、各参加校で準備する。各参加校で印刷し、カードケース等に入れ、事前に応援者へ配付しておくこと。）

【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県中体連事務局へ速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。